

神戸海星女子学院大学
大学の求める教員像及び教員組織の編制方針

1. 基本方針

建学の精神に基づき、神戸海星女子学院大学 学則等に定められた、本学の教育理念(目標)を達成するためには、全教員が主体となってこれを実行していくことが重要である。そのために本学では「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」、及び「教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)」を踏まえ、また、大学の「中期計画」に基づき、以下の方針に沿って教員組織を編制する。

2. 求める教員像

教員は、キリスト教的世界観に基づく本学設立の目的及び使命に協力し、人格、識見、経歴及び教授並びに研究能力、教育上の業績、学界活動等において、大学教員として十分な資質を備える者でなければならない。

3. 編制方針

教員組織の編制は、本学の教育理念に基づいて、大学設置基準上必要な教員数を確保するとともに、専任教員 1 人当たりの在籍学生数を少なくし、教育目標、「学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)」、及び「教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)」を実現するために十分な教員組織を整備する。編制にあたっては適切な年齢構成や男女比、職位構成に留意するものとする。

4. 採用に関する方針

採用人事にあたっては、授業科目の教育課程上での目的を踏まえて授業科目と担当教員の専門分野の研究業績との適合性や教育方法改善の姿勢を確認するとともに、本学の建学の精神及び教育理念(目的)を理解し、大学運営に関する業務(組織運営、学生支援、学生募集等)、社会連携・社会貢献業務等に積極的に参画することを確認する。

5. 人事手続の適切性

教員の募集・採用・昇任については、「神戸海星女子学院大学 教育職員選考規程」、及び「神戸海星女子学院大学 教育職員人事手続規程」を適正に運用し、その適切性・透明性を確保する。

6. 資質向上

教員の資質の向上を図るため、授業改善に向けた組織的取組(FD)を積極的に行うとともに、教育研究活動を適切かつ効果的に運営するために必要な知識及び技能を習得し、それらを向上させる機会(SD)を設ける。

7. その他

教育と研究という崇高な任務に携わる本学教員の職業倫理の基盤は、基本的人権の尊重と知的誠実性を貫徹することにある。特に、本学の教員においては、自律的意思をもってこの基盤に立ち、本学が存在する意味を明らかにすることに努めるとともに、本学の建学の精神と教育理念に基づいた学生支援を第一の責務とすることを明確にする。